

どんどこ通信

○どんどこ通信は、おおつき和弘後援会会員向け情報紙です。

発行

Vol.

4

おおつき和弘後援会

www.dondoko.st

228-0817 相模原市御園5-5-20 e-mail:otsuki@dondoko.st

TEL:042-745-5004 FAX:042-745-5004

発行責任者／丸山 進

討議資料

日本一災害に強く安全な、「防災都市相模原」を実現！

自主防災活動の方向性

「見る訓練」から「地域実践型訓練」へ

◎双葉小学校避難所指定8自治会合同自主防災訓練

おおつき和弘が、9年前から手掛けってきた双葉小学校避難所指定8自治会の第7回合同自主防災訓練が10月15日(日)双葉小学校を会場に開催された。760名の参加で13項目の訓練が実施された。「参加して良かった」と言われるよう内容の検討を続けて、参加チケットの導入などで無駄な時間を使わない方法や学校・行政・ボランティアとの綿密な連携で、市内でも先進的な取組みが評価されている。神奈川県のモデルケースにも取り上げられ、総務省が主催する「全国防災まちづくり大賞」にも神奈川県・相模原市の推薦で今年エントリーされている。



「見る訓練から活動する訓練へ」
救出訓練の様子。地域には様々な力を
持つ方がたくさんいます。地域の役割
を集めることも自主防災の役割です。地域の力

の相談もつとめて実績で、修業研修会で担当してきました。双葉市は、おおつき和弘が運営を始めた最初の立派な訓練所として、おおつき和弘の活動を応援していただきたいです。



おおつき和弘の訓練概要説明



後援会員募集中です。

おおつき和弘を応援していただける後援会員を募集中です。お知り合いをお説き下さい。お問い合わせは、後援会までお願いいたします。



耳(ミニ)集会開催します。

おおつき和弘は、皆さんのお声を大切にしています。いつでも駆けつけます。「聞く耳(ミニ)集会」に呼んで下さい。後援会までご連絡ください。



防災活動をはじめ、おおつき和弘の活動をホームページで公開しています。「おおつき和弘」で検索して下さい。

地域の子ども達を守る



「子ども達の安全確保」学校区単位の防犯活動

小学校は、学区内に住んでいる家庭の子供達が6年間通い、保護者も学校との関係の中で足を運ぶ機会が多い。入学式、卒業式、運動会や参観日などで子供達の成長を見る機会を大切にしている方々も多いと思う。

小学生は、徒歩通


ふたばっ子みまもり隊

ふたばっ子みまもり隊ロゴマーク

学をしている。一年生でも歩いて行ける距離、範囲が学区として設定されている。通学距離は、ここ相模原の南部で概ね小学校を中心に半径1キロメートル程度ではないだろうか。この学区の範囲で、子供達は6年間、様々な友だちとの関係づくりやスポーツ、文化活動を経験し同時に保護者等も地域の中に様々な関係が作られる。その経験値は蓄積され大きな地域情報のデータベースが作られている。しかし、残念な事にその膨大なデータベースを効率的に地域活動に使う事が難しい。理由は、情報を持つグループや活動団体が各自別々に機能しているからである。縦割りの関係の中で、「子供の安全対策」等の同じテーマについての活動を考え実践しているのに団

体間の連携が取れずにバラバラなものとなっている。

子供達を取り巻く現在の社会情勢から子を持つ親のみならず「子供達の安全」について「何とかしたい」と考え活動に具体的に協力したいと言う市民や自治会組織等の声も聞こえている。行政の地域の安全を管轄する担当課からは、自治会組織や防犯関係団体に対し協力依頼が出され、警察からは又別ルートで防犯活動への協力依頼が出され、教育機関からは学校や、保護者組織へ安全確保の要請が出されるなど様々に要請がある中で、地方都市ならば市に昇格する要件ともなる人口4万5千人、小学校4校を抱える公民管区（例、相模台出張所管内）として取組むには範囲が広すぎてなかなか具体的且つ綿密な活動へ進みにくい可能性もある。

小学校区は、地域住民や、地域団体から認知された「顔の見える生活範囲」として防犯や防災等の実活動を推進する為の規模としては最適なものと考える。今こそ、小学校区を生かして住民や関係団体がこれまで見知った顔を並べ具体的な連携により、地域の膨大なデータベースを利用し実活動に繋げ、子供達の安全確保に取組む時である。おおつき和弘は、地域の学校および保護者組織に以上のような考え方を伝え理解を求めてきた。双葉小学校では、いよいよ12月から、「ふたばっ子みまもり隊」として100名に近いボランティアにより本格的な活動が始まる。

◎おおつき和弘は、「ふたばっ子みまもり隊」の代表で、名称とロゴマークもデザインした。

防犯活動をはじめ、おおつき和弘の活動をホームページで公開しています。「おおつき和弘」で検索して下さい。



地域と共に活動の実績

◎全ての普通教室へ臭気対策用空調設備設置
(麻溝台中学校)



◎みゆき台バス停改良



◎御園5丁目バス停改良



◎双葉二丁目交差点改良



◎(独)相模原病院
(旧国立病院)東側歩道設置



◎通学路、交通危険箇所のグリーンベルト表示



◎相模台ふれあい広場市買上げ取得

◎小田急相模原北口再開発ビルへ公共スペース確保(予定500m²、250人利用規模)



後援会の報告

会員の皆様のご協力で様々な活動が始まっています。

◎おおつき和弘後援会「発足の集い」 7月9日



どんどこの会

*地元の婦人応援団
の皆様です。

◎どんどこの会「暑気払い」8月8日



◎おおつき和弘後援会「幹事会」9月15日



どんどこの会

簡単「酒まんじゅう」レシピ

材料(小饅頭6個分)

薄力粉	100g	ベーキングパウダー	小さじ1/2
砂糖	40g	こしあん	100g
酒かす	10g	うちこ(薄力粉)	適量
水	50cc		



- ① 酒かすは水につけてよく溶かす。
- ② あんは6つに分け、ペーパータオルの上に
おき余分な水分を取っておく。
- ③ 砂糖、薄力粉、ベーキングパウダーをボー
ルに入れ、はし等でよく混ぜておく。
- ④ ③に①を入れ混ぜる。
- ⑤ 打ち粉をしたバットに取り出し、よくもみ
あわせ、棒状に6個に切り分ける。
- ⑥ 切り分けた生地をれめ、中央を厚めにまわ
りを薄く広げ、れめておいた餡を包む。包
んだ所をよく閉じ、閉じた所を下にしてク
ッキングシートの上に並べておく。

- ⑦ 蒸気が上がったら⑥を蒸し器の中に入れ強
火で10分蒸す。
※この時蒸し器の蓋の裏に乾いたふきんを
あて、煙が落ちない様にしておく。
- ⑧ 蒸し上がったら火からおろし、手早くうす
わてあおぎ冷まして器を出す。
- 酒かすを入れないと饅頭になります。粒饅
頭でもできます。



ごみの出し方が変わります

市では、平成12月18日(月)から、「ペットボトル」「プラスチック製容器包装」「紙製容器包装」の分別回収を始めます(津久井町・相模湖町地域は除く)。ごみの減量化・資源化をより一層進めるため、ご協力をお願いします。

地域別開始時期(既に10月2日から実施されている地域もあります。)

■12月18日(月)から実施の地域

青葉、旭町、麻溝台、新磯野、磯部、上鶴間、上溝、北里、栄町、相模大野(1丁目25番・35番を除く)、相模台、相模台団地、桜台、下溝、新戸、水郷田名、相南、相武台、相武台団地、当麻、田名(※)、田名塩田、並木、東林間、光が丘、双葉、文京、松が枝町、御園(4丁目1番を除く)、緑が丘、南台、豊町、陽光台、若松3・5丁目(※)

*詳しくはごみ減量推進課(電話042-769-8245)までお問い合わせください。

■地域別収集日

「一般ごみ(週3回)」及び「資源の日(週1回)」の回収曜日は従来どおりとし、それ以外の曜日に新たに「容器包装プラスチックの日(週1回)」を追加します。

なお、紙製容器包装の分別回収については、既に実施している「資源の日」の紙類に追加することになります。

おおつき和弘を 応援しているぞ

◎応援メッセージご紹介コーナーです。

◎みなさんも応援メッセージをファックスして下さい。

◎高齢者が楽しくいきと活動できる公共の場を増やして下さい。応援しています。(文京KA)

◎熱心に地域活動してこられた姿を拝見してきました。これからも地域のために頑張っていただけることをうれしく思います。精一杯応援します。(南台MS)

◎議員の高齢化が気になっていました。時代が変わっていく中で新しい人に期待します。地元の代表として頑張って下さい。(相模台SS)

◎凶悪な犯罪が多くなり不安です。安心して暮らせる環境を希望しています。(相模台T1)

◎リハビリのため毎日歩行訓練で外を歩いています。道路の傾斜や段差が激しいと恐くて前に進めません。何とかならないでしょうか。応援しています。(御園NT)

◎働き盛りの50歳を迎えた「おおつき和弘さん」は、若い世代と年配の世代の双方から信頼される地域のリーダーとして活躍されてきました。地域を考える卓抜した情熱と行動力にはすばらしいものがあります。これまでの地域活動の経験から培われた能力を地域と議会をつなぐ大きな力に変えて、相模原南部地域の確かな未来のために頑張っていただきたい。応援しています。

坂井 敏克(相模台地区自治会連合会長)

◎みゆき台・御園5丁目のバス停改良や県のモデルケースともなった8自治会合同防災訓練の企画や運営を通じて、市民の安全安心を最優先に考える観点からの行政との交渉や、地域をまとめる大根さんの力には計り知れないパワーを感じてきました。地元地域の未来を託す事ができるのは「おおつき和弘さん」です。

竹川一夫(前大野南地区自治会連合会長)

◎児童館や小学校で活動する姿を良く見ていています。子ども達の未来のために力を貸して下さい。(東大沼MO)

おおつき和弘後援会
www.dondoko.st

228-0817 相模原市御園5-5-20 e-mail:otsuki@dondoko.st
TEL@042-745-5004 FAX@042-745-5004



どんどこきずく
「新相模原」

無所属